

# 農林水産業を支える技術開発と普及

## 農業技術センター

農業技術センターでは、県民の豊かな生活を支える都市農業の実現をめざして、最先端の農業技術の研究・開発を行っています。

また、農業現場で解決を必要とする課題を的確に把握し、農業経営の改善等に役立つ新しい技術や知識を早期に農業者へ伝達するとともに、県民に開かれたセンターを目指し、積極的に情報を提供しています。

## 研究と開発

県民に新鮮で安全・安心な農産物を安定して提供するための技術開発や、環境と調和した農業を推進するための技術開発に取り組んでいます。



スイートピーの新品種「スプラッシュヴィーノ」



観賞樹ヤボンノキの新品種「八剣枝垂れ」

- ・ かながわらしいスマート農業の推進や多様な担い手に対応するユニバーサル生産技術の開発に取り組んでいます。
- ・ 地産地消を推進し、かながわの優位性を発揮する、新規性・独自性に着目した特産品の開発に取り組んでいます。
- ・ 農作業の省力化、生産性の向上に向けた技術の開発などに取り組んでいます。



スマート農業の試験栽培を行う「ICT温室」



生食・加熱調理どちらでもおいしいトマト新品种「湘南ポモロン」



「ドローン」を活用した画像解析システムの開発

## 普及と支援

農業者に対し、農業技術支援を軸とした農業経営体の育成を行っています。

- ・ 新規就農者の定着、経営発展を目指す農業者の経営改善等を支援しています。
- ・ 県民の需要やマーケット・イン<sup>※1</sup>の発想を活かした農畜産物の高付加価値化等の取組を支援しています。



ナス生産者への技術指導



花き生産者への技術指導

- ・ 農業技術の高度化や持続可能な農業生産を支援しています。
- ・ 安全・安心な農畜産物を供給するためのGAP<sup>※2</sup>等の取組を支援しています。
- ・ 地域農業を振興するための取組を技術的に支援しています。

※1 消費者や実需者のニーズに応じて生産を行うこと  
 ※2 農業生産工程管理（Good Agricultural Practice）のことを指し、農産物（食品）の安全を確保して、より良い農業生産を実現する取組

## 畜産技術センター

畜産技術センターでは、県内で生産された良質な畜産物を県民に安定的に提供するとともに、都市と調和した畜産業を推進する試験研究を行っています。

また、研究成果及び新技術を生産者に普及させるとともに担い手の育成・確保に関する支援などを行っています。



生産者ニーズに合った多産系母豚の開発



後継牛確保対策のための新技術（OPU）の実証



かながわ鶏の飼養管理技術の確立



効率的な生産と臭気問題に対応可能な畜舎の実証研究



農福連携のサポート（県内の養豚農業と障害のある方々をつなぐ活動を支援）



「農場HACCP<sup>\*</sup>（畜産物安全確保対策）」に取り組む畜産農家に対する支援

※農場でリスク管理を行うことにより、安心安全な畜産物の生産に結び付ける手法

## 水産技術センター

水産技術センターでは、県民に海・川の豊かな恵みと潤いを提供するために、三浦市内の本所、相模原市内の内水面試験場、小田原市内の相模湾試験場において、魚介類の資源生態や資源管理に関する調査研究、海況予測や急潮の発生機構に関する調査研究、種苗生産や放流手法など栽培漁業に関する技術開発、定置網などの網漁具の改善・開発、藻場や希少淡水魚を対象に生態系の復元や保全に関する調査研究等を行っています。



江の島丸による調査（伊豆諸島海域）

## 自然環境保全センター

自然環境保全センターでは、ブナ林の保全・再生技術の開発や、森林の持つ水源のかん養等の多様な働きを向上させるための森林整備技術の改良、整備結果を評価するためのモニタリング調査を行っています。また、シカ等の野生動物と共存するための森林管理技術の研究や、花粉症対策として花粉を作らないスギやヒノキの種苗の実用化にも取り組んでおり、調査結果や成果に関する情報提供も行っています。



ブナ林の昆虫相調査



無花粉スギの交配作業